

第2小委員会

社 会
(地理的分野)

報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程 野 仁 様

第12地区教科書採択調査委員会第2小委員会委員長 寺 島 康 博

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、社会科・地理の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された4者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された4者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 東京書籍 「新しい社会 地理」

- 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境線などから地域構成を大観したり、国名の由来や国旗に表れた特色から世界の国や地域について関心を高めたりする活動
 - ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図を比較しながら人々の生活の様子を衣食住に着目して考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動
 - ・「世界の諸地域」において、アジア州におけるイスラム教徒の生活・文化やオセアニア州のツバルにおける環境問題などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「アフリカが発展していくうえでの課題」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動
 - ・「地域調査の手法」において、高知県高知市について、自然環境・防災、人口、産業や土地利用の変化、交通の発達や他地域との結びつきなどから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動
 - ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地震の震源や火山が連なる地域や地域によって異なる気候の分布などをとらえたり、自然災害と防災・減災への取り組みについて、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動
 - ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、都市・村落、産業、交通・通信、生活・文化の視点からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然とともに生きる人々の暮らし」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動
 - ・「地域の在り方」において、宮崎市における少子高齢化について、身近な地域の将来像を話し合ったり、他者を尊重し、協力する態度や地域社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動
- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「日本の位置」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、参加型学習である「みんなでチャレンジ」を設けたり、多様な意見に触れたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。

(2) 教育出版 「中学社会 地理 地域にまなぶ」

- 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「地域構成」において、身近な飲み物の原料の生産状況などから地域構成を大観したり、伝統・文化の意義とその継承などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動
 - ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域の自然・社会条件と暮らしとのかかわりに着目して人々の生活の様子を考察したり、世界の言語・民族・宗教と社会とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動
 - ・「世界の諸地域」において、アジア州における経済発展やオセアニア州における他地域との結びつきが強まっていることなどから州ごとの地域的特色を大まかにとら

えたり、アフリカ州では、「なぜ他地域からの支援が必要とされているのだろうか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動

- ・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市について、自然・環境、人口・都市、産業、商業、歴史・文化、交通などから適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動
 - ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や季節風の影響を受けた多様な気候の分布や地域区分などをとらえたり、地形、自然災害と防災・減災、開発や環境保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色について理解したりする活動
 - ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、歴史、産業、交通・通信、伝統文化からそれぞれ地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然を利用する暮らしの工夫」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動
 - ・「地域の在り方」において、「多摩ニュータウンにおける高齢化問題」を取り上げ、地域にみられる課題を話し合ったり、課題解決に向けて考え、解決していこうとする態度を身に付けたりする活動
- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「防災教育」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。

(3) 帝国書院 「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」

- 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
- ・「地域構成」において、世界各国の文化、人口、面積などから地域構成を大観したり、国境線や国名の由来、国旗のデザインに取り入れられた自然、歴史や宗教などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動
 - ・「世界各地の人々の生活と環境」において、気候帯の特徴に着目して人々の生活の様子を考察したり、「場所」や「人間と自然の相互依存関係」とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動
 - ・「世界の諸地域」において、アジア州における自然環境やヨーロッパ州における文化の共通性と多様性から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、北アメリカ州では「アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら世界をリードするまでに発展したのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動
 - ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区を取り上げ、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、環境保全、生活・文化などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動
 - ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、日本の主な山地・山脈や日本各地の気候の分布や地域区分などをとらえたり、自然災害に対する備えへの取り組みについて、地図や写真などから調べて日本の自然環境に関する特色について理解したりする活動
 - ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、交通や通信、環境保全、産業、人口や都市・村落、生活・文化からそれぞれの地域的特色をとら

えたり、「近畿地方における環境問題や歴史的景観の保全への取り組み」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動

- ・「地域の在り方」において、「京都市のバスの混雑」を取り上げ、自分の住む地域の在り方と世界と日本の学習との関連について話し合ったり、地域の課題の解決に向けて考え、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動

- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「地域の在り方」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題の分析とその解決に向けた構想に取り組む活動を設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。

(4) 日本文教出版 「中学社会 地理的分野」

- 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積などから地域構成を大観したり、国境や人口・面積、国名・国旗の由来などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動

- ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、衣食住の特色や、言語・宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動

- ・「世界の諸地域において、アジア州における人口や経済発展やアフリカ州における自立のための開発と国際協力などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、オセアニア州では、「多文化が共存する社会」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動

- ・「地域調査の手法」において、京都市伏見区について、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動

- ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や地域によって気温や降水量が異なる気候の分布や地域などをとらえたり、地形、自然災害と防災、開発や保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動

- ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口や都市・村落、歴史的背景、産業、交通・通信、持続可能な社会づくりからそれぞれの地域的特色をとらえたり、「中部地方における産業」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動

- ・「地域の在り方」において、京都市の町づくりについて、地域の課題を話し合ったり、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を身に付けたりする活動

- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「世界の諸地域」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題をチャレンジやアクティビティを通して深い学びにつなげたり、節末で地球的課題を解決したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	1・東書	第1・2学年 地理的分野	地理・701	新しい社会 地理
取扱内容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境線などから地域構成を大観したり、国名の由来や国旗に表れた特色から世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図を比較しながら人々の生活の様子を衣食住に着目して考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州におけるイスラム教徒の生活・文化やオセアニア州のツバルにおける環境問題などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「アフリカが発展していくうえでの課題」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、<u>高知県高知市について、自然環境・防災、人口、産業や土地利用の変化、交通の発達や他地域との結びつきなどから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動</u> ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地震の震源や火山が連なる地域や地域によって異なる気候の分布などをとらえたり、自然災害と防災・減災への取り組みについて、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、都市・村落、産業、交通・通信、生活・文化の視点からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然とともに生きる人々の暮らし」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、<u>宮崎市における少子高齢化について、身近な地域の将来像を話し合ったり、他者を尊重し、協力する態度や地域社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動</u> 			
内容の構成・排列	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「日本の位置」において、<u>学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、参加型学習である「みんなでチャレンジ」を設けたり、多様な意見に触れたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</u></p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界各地の人々の生活と環境」において、写真や雨温図などの資料を読み取る学習の後に、「世界の諸地域」において、複数の資料の比較や関連付けを通じて、特色をとらえる学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がされている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然の特色を生かした産業を取り上げたり、現在に受け継がれるアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の導入部において、単元全体を貫く「探究課題」を設定する活動や、探究課題の解決を補助する問いを軸に構造化された課題解決的な学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 見開きで1単位時間の構成を示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1・2学年 地理的分野	地理・702	中学校 地理 地域にまなぶ
取扱内容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、身近な飲み物の原料であるタピオカの生産状況などから地域構成を大観したり、伝統・文化の意義とその継承などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域の自然・社会条件と暮らしとのかかわりに着目して人々の生活の様子を考察したり、世界の言語・民族・宗教と社会とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における経済発展やオセアニア州における他地域との結びつきが強まっていることなどから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「なぜ他地域からの支援が必要とされているのだろうか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、<u>愛知県名古屋市について、自然・環境、人口・都市、産業、商業、歴史・文化、交通などから適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動</u> ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や季節風の影響を受けた多様な気候の分布や地域区分などをとらえたり、地形、自然災害と防災・減災、開発や環境保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色について理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口、歴史、産業、交通・通信、伝統文化からそれぞれ地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然を利用する暮らしの工夫」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、<u>「多摩ニュータウンにおける高齢化問題」を取り上げ、地域にみられる課題を話し合ったり、課題解決に向けて考え、解決していこうとする態度を身に付けたりする活動</u> 			
内容の構成・分量等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、<u>「防災教育」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</u></p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、世界各地の生活から興味・関心を高める学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、自分なりに考えてテーマを設定し、仮説を立て、意見を交換する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、<u>北海道における豊かな自然と観光を取り上げたり、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</u></p> <p>○ 章や節などの末尾において、「学習のまとめと表現」のページを設け、主な地名や言葉を確認する活動や、設定されたテーマについて自分の言葉で説明する学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などを使用したりするとともに、1人1台の端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第1・2学年 地理的分野	地理・703	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
取扱内容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の文化、人口、面積などから地域構成を大観したり、国境線や国名の由来、国旗のデザインに取り入れられた自然、歴史や宗教などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、気候帯の特徴に着目して人々の生活の様子を考察したり、「場所」や「人間と自然の相互依存関係」とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、アジア州における自然環境やヨーロッパ州における文化の共通性と多様性から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、北アメリカ州では、「アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら世界をリードするまでに発展したのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区を取り上げ、<u>自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、環境保全、生活・文化</u>などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、日本の主な山地・山脈や日本各地の気候の分布や地域区分などをとらえたり、自然災害に対する備えへの取り組みについて、地図や写真などから調べて日本の自然環境に関する特色について理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、交通や通信、環境保全、産業、人口や都市・村落、生活・文化からそれぞれの地域的特色をとらえたり、「近畿地方における環境問題や歴史的景観の保全への取り組み」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、<u>「京都市のバスの混雑」を取り上げ、自分の住む地域の在り方と世界と日本の学習との関連</u>について話し合ったり、地域の課題の解決に向けて考え、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 			
内容の量構成・排列	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「<u>地域の在り方</u>」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、<u>社会的な課題の分析とその解決に向けた構想に取り組む活動を</u>設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界のさまざまな地域」において、地域で見られる地球的課題の影響を考察する学習の後に、「日本のさまざまな地域」において、地域的特色を構成する各事象と地球的課題の相互関係を考察する学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、雪と共にある北海道の人々の生活を取り上げたり、<u>自然と共に生きるアイヌの人々の歴史や文化を紹介</u>したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章・節・各本文において、冒頭に設けた単元を貫く問いから学習の見通しをもつ活動や、末尾に言語活動を備えた学習の振り返りの活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 地域的特色が見える写真資料を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、資料は識別しやすい色とし、文字はユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台の端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式 1

観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	116・日文	第1・2学年 地理的分野	地理・704	中学社会 地理的分野
取 扱 内 容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、世界各国の人口、面積などから地域構成を大観したり、国境線や人口・面積、国名・国旗の由来などから世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、衣食住の特色や、言語・宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域において、アジア州における人口や経済発展やアフリカ州における自立のための開発と国際協力などから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、オセアニア州では、「多文化が共存する社会」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、<u>京都市伏見区</u>について、<u>自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信</u>などから、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図を活用して、地形の特色や地域によって気温や降水量が異なる気候の分布や地域などをとらえたり、地形、自然災害と防災、開発や保全について、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分して、自然環境、人口や都市・村落、歴史的背景、産業、交通・通信、持続可能な社会づくりからそれぞれの地域的特色をとらえたり、「中部地方における産業」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、<u>京都市の町づくり</u>について、<u>地域の課題を話し合ったり、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度</u>を身に付けたりする活動 			
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、<u>「世界の諸地域」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題をチャレンジやアクティビティを通して深い学びにつなげたり、節末で地球的課題を解決したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</u></p> <p>○ 内容の構成・排列については、「世界の諸地域」において、人類全体で取り組まなければならない地球的課題について考察する学習の後に、「日本の諸地域」において、持続可能な社会を実現する上で取り組まなければならない地域の課題を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「日本の諸地域」において、<u>北海道地方の自然環境と人々のかかわりを取り上げたり、日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史や民族共生象徴空間を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</u></p> <p>○ 単元の終末部において、具体的な課題を自ら調べたり、議論したりする活動や、学習を振り返って知識の定着を図る活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台の端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			